

第2回ワークショップ結果概要

引田・代継・網代区域（引田・湍上・代継）

日 時：平成30年10月13日（土） 10時～12時

会 場：千代里会館

参加者：11人

■会の流れ：

1. 開会
2. ワークショップの実施にあたって
3. 第1回ワークショップのふりかえり
（席替え）
4. グループワーク
 - （1）この地区の公共交通には、どのような機能や役割が必要だと思いますか？
 - （2）（1）で挙げた、この地区の公共交通に必要な機能や役割のうち、特に優先的に必要なものは何ですか？
5. 交通手段の事例紹介
6. ふりかえり、閉会

■資料説明

ワークショップの開催趣旨、ワークショップの実施方法等、第1回ワークショップにおいて詳説した事項を再度簡単に説明するとともに、第1回ワークショップにおける話し合いの結果を振り返った。

■グループワークの結果1：この地区の公共交通には、どのような機能や役割が必要だと思いますか？

「この地区の公共交通には、どのような機能や役割が必要だと思いますか？」との設問に対し、4つのテーブルに分かれ、テーブルごとに意見を出し合った。

■グループワークの結果2：グループワーク1で挙げた、この地区の公共交通に必要な機能や役割のうち、特に優先的に必要なものは何ですか？

「グループワーク1で挙げた、この地区の公共交通に必要な機能や役割のうち、特に優先的に必要なものは何ですか？」との設問に対し、引き続き同じテーブルごとに意見を出し合い、後にテーブルごとに発表の時間を設けることで、参加者の状況や意見を共有した。

テーブルごとの意見を集約すると、概ね次表のとおりとなった。

■第2回ワークショップの様子



■「グループワーク1で挙げた、この地区の公共交通に必要な機能や役割のうち、特に優先的に必要なものは何ですか？」

○高齢者に優しい交通（＝誰もが使いやすい交通）	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の移動を拡大するための足の確保 ・運転できない人も利用できる交通 ・ドア to ドアの交通 ・公立阿伎留医療センターなど通院で利用できる
○南北方向の交通	<ul style="list-style-type: none"> ・段丘の定点間の短時間運行 ・駅までの特に朝夕のアクセス ・JR 駅まで行くバス（自宅から 200m程度で乗れる） ・駅、病院、イオンなどへの定時運行 ・市内の病院、スーパーなど巡回
○安い料金	<ul style="list-style-type: none"> ・タクシーより安く ・ワンコイン程度
○その他	<ul style="list-style-type: none"> ・定期運行/デマンド運行の併用 ・るのバスを使いやすくする ・小型車の運行（軽自動車、ミニバンなど裏通りを走れる交通） ・運行頻度は午前午後の2回、1日に4～5便（＝8～10往復）など ・バスがスムーズに走れるような道路整備 ・人が集まるようにするための学校、病院、会社、ショッピングモールなどの地域開発

■交通手段の事例紹介

グループワーク終了後、第3回以降のワークショップに向けて、各地の公共交通に対する取組事例の概要を紹介した。

■テーブル別結果概要 グループワーク1

テーブルA

対象者	交通のタイプ	頻度	目的地	その他	
<ul style="list-style-type: none"> ・元気な人は少ない ・車を運転できない人 	■デマンド型 <ul style="list-style-type: none"> ・足が悪いので、家から目的地まで行って欲しい ・（免許返納後）目的によらずドア to ドアで運行 	<ul style="list-style-type: none"> ・非定時運行 	<ul style="list-style-type: none"> ・巡回型－イオン、東急などのスーパーや市内の病院を回る ・巡回型－武蔵引田への巡回バス ・直行型－イオンへの直行バス ・行先別－病院、駅などの別に運行 ・通勤用にJR 駅へのバスを運行 	<ul style="list-style-type: none"> ・雨天時に駅へ行けるように ・道路の拡幅（全て4m以上に） 	
	■バス型 <ul style="list-style-type: none"> ・限られた所を回る ・住宅地をできるだけ細かく回る ・路線運行 ・ニーズが多い場所へのシャトル便 ・ワゴン車 ・るのバスのような片方向運行ではなく、双方向運行で 	<ul style="list-style-type: none"> ・定時運行 ・2本/時 ・午前午後の2便 			
	■乗降場所 <ul style="list-style-type: none"> ・バス停型（自宅から200m以内） ・徒歩2～3分で乗れる ・フリー乗降（どこでも乗降可） ・非路線型 	<ul style="list-style-type: none"> ・定時運行のバスタイプとデマンドタイプの混在 			■将来的な開発 <ul style="list-style-type: none"> ・引田駅周辺の開発 ・買い物、娯楽など生活上の目的地を増やす ・地域開発のため、地区南部の農地を工場、会社、病院、学校、ショッピングモールに転用
	■地域内での乗合 <ul style="list-style-type: none"> ・地区内乗合 				

テーブルB

対象者	交通のタイプ	頻度	目的地	その他
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者、障害者 ・子どもから高齢者まで誰もが利用できる交通 ・自分で運転できなくなったときの交通 	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅からなるべく近い場所で乗りたい ・家の前まで送迎してほしい ・乗り合いタクシーのような交通 	<ul style="list-style-type: none"> ・希望する時間に利用できる交通 ・3回/日程度 ・平日・休日の運行 	<ul style="list-style-type: none"> ・病院 ・買物 ・市役所 	-
	<ul style="list-style-type: none"> ・るのバスの運行ルート拡大 ・るのバスの増便 			
	<ul style="list-style-type: none"> ・軽自動車の運行(狭く急な坂を通行できる交通) ・地域から駅(武蔵引田駅、秋川駅)までの南北方向の交通 ・段丘ごとの定点運行(南北方向、急な坂への対応) 			
	<ul style="list-style-type: none"> ・なるべく安い料金(タクシー以下) 	-	-	

■テーブル別結果概要 グループワーク2

テーブルA

A. とくに高齢者等外出が大変な方を対象	・運転できない人
B. 南北移動を容易に	<ul style="list-style-type: none"> ・駅までの特に朝夕のアクセス ・JR 駅まで行くバス(自宅から200m程度で乗れる) ・駅、病院、イオンなどへの定時運行 ・市内の病院、スーパーなど巡回
C. 運行頻度	<ul style="list-style-type: none"> ・午前午後の2回 ・1日に4~5便(=8~10往復)
D. 定期運行/デマンド運行の併用	・定期便と不定期便を
E. ドア to ドア	・老人等の移動
F. 安い料金	・ワンコイン程度
G. 地域の交通を支えるための整備・開発	<ul style="list-style-type: none"> ・バスがスムーズに走れるような道路整備 ・人が集まるようにするための学校、病院、会社、ショッピングモールなどの地域開発

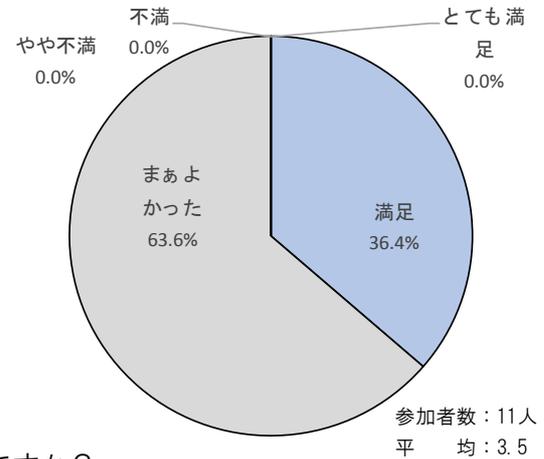
テーブルB

A.安い料金(ワンコインなど)	・タクシーより安く
B.高齢者に優しい交通(=誰もが使いやすい交通)	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の移動を拡大するための足の確保 ・運転できない人も利用できる交通
C.南北方向の交通	<ul style="list-style-type: none"> ・段丘の定点間の短時間運行 ・駅への南北方向の交通
D.るのバスを使いやすく	-
E.小型車の運行	<ul style="list-style-type: none"> ・軽自動車 ・ミニバン(裏通りを走れる交通)
F.通院で利用できる交通	・公立阿伎留医療センター

■参加者の感想（アンケート結果）

今日のワークショップの全体的な満足度はいかがでしたか？

5. とても満足 4. 満足 3. まあよかった
2. やや不満 1. 不満



平均は、とても満足＝5点、満足＝4点、まあよかった＝3点、やや不満＝2点、不満＝1点として合計し、回答数で割ったもの

○今回、ご自身の中で、気づいたこと、発見したことは何ですか？

- ・自分が困っている事が他の人も同じ悩みであるのが共通認識できた
- ・参加者が少ないのだろうか～？と思っていましたが、1グループ（机）5名... この問題を考える、関心を持つ人がもっというて欲しいと思いました。でもGW（グループワーク）では話し易い人数でもありました
- ・区域内参加者の公共交通機関についての意見、認識はほぼ一致していること
- ・南北の移動が課題であることがわかった
- ・この地域からの駅の方へ行くのは大変だということです
- ・実施に対し、運賃料が出てきていたので、身近に感じるようになった
- ・老人中心の地区である
- ・年代によって要望が違うので幅広い意見を求めると良い
- ・見たいモノとか見ていないと気づく

○ファシリテータ（進行役）やほかの参加者の発言で、特に印象に残っている発言があれば、ご記入ください。

- ・高齢者にとって、医者に通う、駅まで行くことが自分の生活や生命を維持して良いものにしていくために、交通手段がかかせないものになっていることが実感できた
- ・とてもわかり易く説明していただいたと思っています。「話し合いの様子から、この問題の皆様の考えが大分見えて、わかって良かった、満足しています」というお言葉が印象的、私もそう思いました。
- ・高齢者の利便＝全住民の利便向上の意見に賛同する
- ・地域開発等も含めた幅の広い議論も出て来た
- ・交通手段ばかりに注視しないで、地域の活性化について検討するべきです。学校（大学など）、工場、病院、ショッピングモールなど
- ・最終3点に集約する方法が良い

○本日の企画・運営で、良かった点、感じた課題をお教えてください。

- ・言葉で意見を出すことや発表することがなかなかまとめて発言できないので、付せんにつづつ願いを書いてまとめていくやり方はなかなか良いと思った
- ・市側から、今後の市発展（開発）の計画の中で、公共交通問題を位置付けたいとの意味の発言があったが、参加者は現在の問題ととらえている。将来像はまかせるので、現状改善に取り組んで欲しい
- ・各テーブルのファシリテータ役の人が非常に手際よく意見をまとめていた
- ・本当に引田地区、代継地区にワゴン車を走らせる事ができるのか？
- ・まとめる方向になってきたのかなと思った
- ・多くの方が集まった